

2017年度 数学科の授業を振り返って

【1】 授業実践報告（カリキュラム）

2017年度の授業カリキュラムは以下のとおりです。この内容は、もはや定着した感があり、新年度も同様に授業を進める予定です。

| クラス | 単元 | 内 容 | 授業担当* | コマ数 | 備 考 |
|--------------|---------|-----------------|-------|-----|-----------------|
| 1 年 23 コマ | 整 数 | ・十進数のしくみ | 相 川 | 4コマ | ・四則混合計算は次年度まわし。 |
| | | ・加 減 算 | 相 川 | 6コマ | |
| | | ・か け 算 | 平 瀬 | 6コマ | |
| | | ・割 り 算 | 相 川 | 7コマ | |
| 2 年 23 コマ | 小 数 | ・小数の計算 | 鹿 沼 | 9コマ | ・メートル法のしくみを含む。 |
| | 分 数 | ・分数の加減算 | 岡 野 | 7コマ | |
| | | ・分数の乗除算 | 境 | 5コマ | |
| 割 合 | ・歩合、百分率 | 岡 野 | 2コマ | | |
| 3 年 23 コマ | 正負の数 | ・正負の意味と 四則演算 | 竹之内 | 3コマ | ・1元1次方程式 |
| | | | 亀 谷 | 8コマ | |
| | 方程式 | ・等式の性質 | 亀 谷 | 3コマ | |
| | | ・方 程 式 | 亀 谷 | 9コマ | |
| じっくり | 個 別 対 応 | 泉・三澤 | 23コマ | | |

*詳細は「スタッフ説明会」の資料をご覧ください。

*授業担当以外の数学科スタッフ：上村（1年）、工藤（慶）、小塚、清野（以上2年）

*授業に先立っての「教材プリント検討会」を、原則、毎月第1、第3土曜日に年間計13回実施した。

【2】 振り返り事項

数学科では、2017年度の授業が終わったあとスタッフ全員に「授業を振り返って」と題するアンケートを行い、それに基づく話し合いを実施しました。概要を報告します。

教材プリントについて。

- ・授業後に見てもひとりで復習できるように適切な説明文を工夫した。
- ・視覚的に理解を助けるため、図解を工夫している。
- ・教材プリントはA3で1～2枚になるよう統一している。

授業について。

- ・タイルやトランプ、ペットボトルなどの小道具を使って、理解の一助にした。
- ・受講生によって理解度が違ったり、演習のスピードが違うので、授業担当者以外のスタッフの協力は欠かせない。

受講生の反応。

- ・おおむね理解はできているが、数学特有の「言葉」や文章問題には苦労している。
- ・学校で学んだやりかたと、遠友塾のやりかたの違いに戸惑いがみられた、
(例：割り算の計算方法。小数どうしの割り算での小数点移動。)

欠席者などへの対応。

- ・教材プリントの送付が中心。出席してきたときに時間前の補講や、授業中のアシストで対処。
- ・別日程・別会場での補講を実施したクラスもある。

カリキュラムなどについて。

- ・時間数を考えると、基本的には現状のままでよい。
- ・「単位系」の学習を小数の項目で取り上げたらどうか、「割合」の学習時間数は3時間を確保したい、との意見があった。

【3】 新年度の授業計画

| クラス | 学期 | 単元 | 備考 | 担当者 |
|------|-------|----------|--------------------|----------------------|
| 1年 | 1学期 | 整数の加減算 | | 亀谷、竹之内 |
| | 2学期 | 整数のかけ算 | | |
| | 2～3学期 | 整数の割り算 | | |
| | 3学期 | 四則混合計算 | | |
| 2年 | 1学期 | 小数の計算 | ・加減乗除。単位系を含む。 | 相川、上村、平瀬 |
| | 2学期 | 分数の計算 | ・小数と分数の関係をを含む。 | |
| | 3学期 | 割合 | ・歩合と百分率 | |
| 3年 | 1学期 | 正の数、負の数 | ・1元1次方程式。等式の性質を含む。 | 岡野、鹿沼、工藤 小塚、境、清野、 |
| | 2学期 | 正負の数、方程式 | | |
| | 3学期 | 方程式 | | |
| じっくり | 全学期 | 個別対応 | | 泉、三澤 |

- * 大きな骨組みについて例年どおりのカリキュラム。詳細や授業担当者については、授業の進行状況をみながら随時「教材プリント検討会」で検討します。
- * 「教材プリント検討会」は、毎月、第1・第3土曜日に実施します。

(文責 平瀬 明 廣)